

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和7年7月10日 R7-2号



新しい名称になって

こども安全安心見守り委員会 会長 宮下 幸良

梅雨なのに毎日 34℃越えの日（原稿執筆時 6/17 日頃）が続いていますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？毎日たくさん水分補給をして熱中症にならないように気を付けてください。昼の活動を計画している班の皆さんは、ご注意ください。

さて、私達、委員会も「少年補導委員会」として長い間活動してきましたが、昨年度一年間かけて検討し、新しい名称に変更して本年度より活動が始まりました。会員の皆さんも半数以上が新しくなられ、戸惑いながらの活動開始となったと思います。例年と違い本年度は初めて時間をかけ事前説明会を地区ごとにさせていただき、その後、総会を開催してから活動開始となりました。実際に活動するとまだ分からないことが多いと思いますが、その為に特別委員制度を設けてありますので特に困ったことがある場合は事務局に相談していただき特別委員の派遣を依頼してください。委員の皆様の多くは学校を卒業して以来、学校には行く機会がなかったと思いますが、一昨年から学校側との懇談会を開始しましたところ何十年ぶりに学校に行くことが出来て懐かしいと皆様から好評を頂きました。

本年も学校との懇談会を予定していますので是非出席して現在の子供たちの考え方、あるいは行動情報について話し合いをして頂き活動に役立ててください。

私たちの班は、活動の一環として地元の交番に行き「お巡りさん」と情報交換をしたり、学校へも行って先生方に話を聞いたりしています。活動の最中は子供（生徒）

を見かけたら積極的に声掛けをお願いします。（挨拶すると返事が返ってきます。）今迄、よく活

動中に「子供たちに会うことが無いので意味がないのでは」との声を聞きますが子供たちは必ずいます。いない時間帯に活動しているからです。委員の皆様は仕事を持っている昼間の時間の活動が難しいと思いますが、子供たちの時間にあわせなくても周りの人たちは活動をみているので必ず抑止になっていると思います。

最後になりますが、活動中に子供及び大人の行動に不審な出来事を見かけたら直接行動をせず躊躇なく 110 番通報をしてください。（警察からもその様にする事をお願いされています。）本年から 2 年間事故が無いように活動することをお願いします。

※学校訪問・・・昼間のパトロールの時間が取れる班の皆さんは是非訪問してみてください。（小・中・高）その時は事前に学校と連絡を取り時間調整してください。（校長先生か教頭先生）

※店舗訪問・・・特に事前連絡は必要ないので訪問してください。（大型店のアリオ、イオンは事前連絡が必要ですので事前に事務局に相談ください）その時にはリーダーがお店の責任者に挨拶をして下さい。「パトロールに来ました宜しくお願いします。」

「ありがとうございました。」と声を掛けてください。

※声かけ・・・「小・中・高校生になら誰にでも」声を掛けてください。「おはよう、こんにちは」が基本。返事が返ってきます。



理事会・総会・全体研修会① ～

<5月21日(水)上田文化会館ホール>

令和7年度、第一回理事会・総会・全体研修会を行いました。本年度の会長、副会長の役員、理事の皆さんの紹介など行いました。また、本年度は、見守り委員の改選年度のため、スタート総会が遅れました。

会長:宮下 幸良(豊殿地区)

副会長:佐藤久二夫(塩田地区)

副会長:宮下 千元(川辺泉田地区)

副会長:宮下 高志(第五中学校)



ありがとう

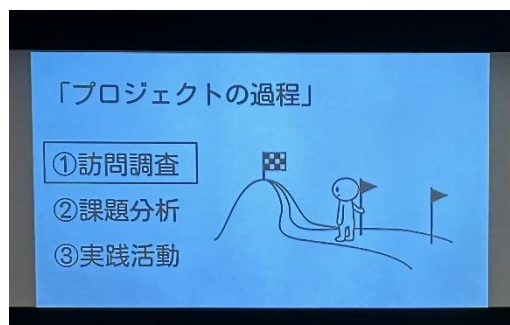
少年補導委員

本年度、退任される少年補導委員の皆様の中から、11名の皆様に感謝状を贈呈いたしました。当日、都合で欠席された方もおられましたが、代表して、中央地区、馬場町の若林孝生様に受け取っていただきました。若林様から「補導委員として、街頭補導やあいさつ運動をする中で見守る事の大切さを学ばせていただき、ありがとうございました。」と感謝の言葉をいただきました。

全体研修会(高校生の活動発表) <社会貢献する若者たち～>

上田千曲高校生活福祉科3年 堀内真生さん・本道涼心さん・宮澤萌乃果さん

「レンタル高校生プロジェクトの活動について」～私たちにお任せください～



上田千曲高校の生活福祉科3年生16名が、地元の高齢者宅を訪問し、無料で困り事や要望に応える「レンタル高校生プロジェクト」に取り組んでいます。生徒さんは、庭の手入れ、スマホの使い方、障子はり、歩行同行、話し相手、衣類の整理、ゴミ捨て、お掃除などのお手伝いを通して、高齢者が抱える課題の解決策を自分なりに掴むことを学んでいます。

実際に体験した生徒さんの感想で「お年寄りが、台所で、手の届かない出窓の掃除や窓ふきを依頼された。こうした活動は、シルバー人材センターに依頼することが難しく、困っていると言っていた。だからこそ、私たちがこの活動をする意義がある」とまとめています。発表してくれた本道さんは、「出窓が、ぴかぴかにきれいになるのを見て、私も幸せを感じることができた」と感想を語った。宮澤さんは、「このプロジェクトが、高齢者の心とからだの健康にもつながると発信していきたい」と語った。また、堀内さんは、「SOSを出せない人が悩みを相談できる場所も必要だと感じた」と今後の課題を語ってくれました。

同校の実践は、一人ひとりの変容を客観的に把握し、話し、寄り添って学び、生きるチカラを育むオルタナティブ教育の活動です。私たちの見守り委員会の今後の取組みの指針とも言えるものでした。

街頭補導・巡回等で「子どもたちに出会うことが少なくなった」「子どもの遊びが変化してきている」といった感想が聞かれる昨今、学校・家庭・地域・行政が連携して協力して見守りと声かけ、社会活動への『共育』を考え実行していかなければならないと感じた研修会でした。『共育』とは、お互いの経験や考え方を共有し、共に高め合うことを目指すものです。



こども安全安心見守り委員の活動紹介 少年育成センター活動A

<6月27日(金)「サントミュージゼ・アリオ上田」巡回



今回は、2地区
(川辺泉田・川西)の
こども安全安心見
守り委員(代表)・特
別見守り委員・少年
育成センター事務
局で、サ
ントミュージゼ・



アリオ上田周辺を巡回しました。巡
回当日、染谷丘高校が文化祭1日目
にサントミュージゼ大ホールで合唱コンクールを
開催しておりました。また、サントミュージゼの
副館長：馬場様に最近の利用状況や近況のお話
を伺いました。

初めに、namcoのゲームセンターの店長、宮
島様よりお話を聞き、2班に分かれて、1Fと
2Fのフロアーやトイレなどを巡回しました。
「あいさつ運動」のティッシュ渡しなども行い
ました。

店長さんのお話では、「18時以降、小中学生
が1人でゲームをしている状況は作らないよう
にしています。もし、ゲームをしている子が居
たら、必ず声掛けを
して親の有無を確認
する様にしていま
す。」「高校生以上
については、その範疇
ではないです。」ま
た、「ゲームに熱中
していて、お金を沢



山使っていそうな子どもの様子は分かります。
だから、従業員が「声掛け」をすることもあり
ます。」印象としては、明るく、楽しく家族で
ゲーム機を使って遊べるような店内の環境を創
ってくださっていると店長さんの話から分か
りました。店長さんも見
守り委員さんが、店舗
を回ってくださるこ
とをとても快く、ありが
たいことであると受け
止めていただいている
ことがとてもよく分か
りました。

16:00すぎ、合唱コ
ンクールの終了した高
校生が大勢、サントミ
ューゼ周辺に繰り出し
大勢の高校生に出会うことになりました。



その
後、2班
に分か
れて、フ
ロアー
の巡回
をしま
した。
「ティッ

シュをどうぞ!」とティッシュを出すと、「あ
りがとうございます。」と言って受け取って
くれました。また、「こんにちは!」とあいさ
つをかけると「こんにちは」と大きな声で答
えてくれました。

馬場副館長のお話では、「ゴミの持ち帰り
について」のお話が印象的でした。「8月5
日に行われる上田市千曲川大花火大会の
後に、ごみがとてもたくさん残って大変
であることや日常の業務中で、朝、芝生
公園に置き去りにされたごみ袋がある
ことがたまに見受けられることがある」
と教えていただきました。

基本的には、声掛けをすれば、みな
素直に受け止めてくれる方が多いと言
っていました。小中高の児童・生徒ば
かりでなく上田市民全体がマナーを考
えた使用が出来るようになってほしい
と願っていることを私達に伝えてく
ました。



活動を行った見守り委員さんの感想
から・「テナントの店員さんが、あいさ
つをしてくれた。」

・「18時以降の16歳未満のみでの入
場を禁止していることや一人で遊んで
いる子どもに気をかけてくれているこ
とが、嬉しく思えた。」

・「基本的には、来てほしい場所なの
で、対応に苦慮されて苦労している様
子が分かった。昔のような悪さを
する若者は少なくなっている様
子が分かった。」

・「全体的に子どもたちが素直な感
じがした。まだ、見守り委員会
の存在が知られていない様
子だった。」



見守り懇談会情報 No.1

<6月30日(月) 丸子地区見守り懇談会>

丸子地域の
小中高校の校
長・教頭、学
校関係者及び
見守り委員・民
生児童委員の
皆さんが、丸子
北中学校に集



まって、懇談会を開催してくださいました。また、上田警察署生活安全課の吉澤係長にも出席をいただき、現状などをお話していただきました。

話題に上がったのは、「スマホや SNS のトラブルは、現在どのようなものか？」吉澤係長から中学生の事例では、LINE やインスタで A 子が「死ね」と書き込み、それを見た B 子が傷ついた。A 子は冗談のつもりだったが、字面では冗談が伝わらず傷つけることになってしまった。高校生の事例では、女性が男性へ裸の画像を送ってしまい、男性はその画像を拡散し、学校の友達がそれを発見し、先生に相談した。いずれの事例もなぜだめなのか、理由や場合によっては罪になることを事前に説明しておく機会が必要であるというお話をいただいた。

次に、「見回る場所や小学生にとって危ない場所等」の確認をみんなでを行った。丸子地区の危険な場所など再度確認する機会になった。

学校側からは、自転車の乗り方についてのお願いがあった。自転車の交通違反（二人乗り・イヤホンをつけながら運転、並列運転など）の取り締まりが厳しくなり、16 歳以上に適用になるので、加害者になる可能性があることを学校でも注意喚起していくが、地域の方々も、見かけたら注意をして欲しいとのお願いがあった。

丸子地域を統一しての懇談会を開催することが出来た。

令和 7 年度

青少年の被害・非行防止全国強調月間

<7月1日(火) 上田駅・街頭啓発活動>



「上田駅を利用する皆さんに、啓発物品を配布しながら、青少年の健全育成運動（こども安全安心見守り委員）・信州あいさつ運動（協力高校生）を広く啓発する。」を

目的に、実施連携団体 5 団体で総勢 22 名、上田駅お城口及び 2 階中央通路で青少年の健全育成

及びあいさつ運動の啓発活動を行いました。

今回は、上田西高の JRC 部 10 名の皆さんの応援をいただきました。当日、小諸駅から軽井沢駅までの区間で落雷のためにしなの鉄道が運転運休があり、駅前の出入りに影響があって、啓発活動ができるかどうか心配したのですが、し



っかり活動することが出来ました。また、上田警察署生活安全課の藤塚さんから、インターネット及び SNS の犯罪についての話があり、SNS の危険性や闇バイトへの勧誘に乘らないようにする注意がありました。

その後、通路に出て『信州あいさつ運動』のティッシュを渡しながらか青少年の健全育成を呼びかける活動」を展開することが出来ました。



活動に参加した上田西高 JRC 部高橋部長さんが「はじめて、街頭啓発活動を行っていましたが、ティッシュ

をなかなか受け取ってくれない方もいて、難しかった。でも、同じ高校生に呼びかける貴重な体験をさせていただきありがとうございました。」と感想を述べてくれました。

青少年の被害・非行防止全国強調月間

「大人が変われば子どもも変わる」



<長野県実施要綱から抜粋>

◎最重要点課題

・インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

○重点課題

- (1) 有害環境への適切な対応
- (2) 薬物乱用対策の推進
- (3) 不良行為及び初発型非行等防止
- (4) 再非行の防止
- (5) 重大ないじめ・暴力行為等問題行動への対応